

## 北海道総合開発委員会計画部会の開催状況

## 平成28年度

## 北海道総合開発委員会（平成28年7月12日）

## &lt;議事&gt;

- ・委員長、副委員長の選出について
- ・新しい総合計画の推進について
- ・専門部会（計画部会）の設置及び付託事項について
- ・部会員の指名について

## 第1回計画部会（平成28年7月12日）

## &lt;議事&gt;

- ・計画部会長、副部会長の選出について

## 第2回計画部会（平成28年10月24日）

## &lt;議事&gt;

- ・北海道総合計画の推進状況について

## 《主な意見》

- 28年8月の台風は、北海道において気象的に大きな変化期を迎えているということの警鐘であり、北海道のライフライン、インフラをもう一度しっかり見直すことは総合計画の一番重要なところである。
- 道では「食」と「観光」を相当PRしているが、その基盤は農業であり、将来の北海道を国の食糧基地と位置づけるのであれば、北海道の農業のあり方はどうあるべきか、というものを作る必要がある。
- 施策あるいは事業が何のためにあるのか、あるいは何のためにやるのかということに対して指標がしっかりとできているか、ということをチェックし、意識していただきたい。

## 平成29年度

### 第1回計画部会（平成29年6月9日）

#### <議事>

- ・北海道総合計画の推進について

#### 《主な意見》

- エゾシカ食肉利用に関し、大部分が廃棄されていることから、利用の研究開発が必要。また、シカ肉を食べるということについて、道の方でも消費者への意識啓発が必要。
- 災害に関する情報提供の多言語化も必要になる。今後、道としても工夫をしていく必要がある。
- 北海道の魅力、あるいは北海道の価値をどうやってアピールするか、それがまた本物になったということ、外の人間だけでなく道民も実感できるということ、この計画の目標としていただきたい。

### 第2回計画部会（平成29年10月27日）

#### <議事>

- ・北海道総合計画の推進状況について

#### 《主な意見》

- 航空宇宙関連の研究、実験拠点形成は新たな産業形成の面で極めて重要であり、特に大樹町での新射場整備は航空宇宙産業の集積に欠かせないものと思われるので、北海道としても国と連携して強力で推進していただきたい。
- I o T、A I、ロボットの目覚ましい進展によって産業構造に変化が生じる中で、A I 導入で資源循環廃棄物処理に画期的な変化が始まることが見込まれるため、北海道もこれに乗り遅れないように、産官学で対応を始めるべき。
- 総合計画は10年単位で作っているが、社会情勢の動きが速いと、重要と言われるキーワードが2～3年で変わってしまう。変えるべきときは、必要なタイミングでマイナーチェンジをして進めていく、そういった気持ちで取り組んでいただきたい。